

## 2022 年度 近畿支部常置研究部会活動成果報告

(2023 年 4 月 2 日作成)

研究部会名	防災計画部会
設置目的 主たる研究テーマ (箇条書き)	1. 防災計画および防災設計に役立つ知見を集積する。 2. 特異な火災が近畿で起こった時に情報収集や火災調査をする体制を整備し、分析結果を発信する。 3. 火災性状予測ハンドブックに基づいて防災計画の例題集を作成する。 4. 見学会や調査を通じて性能設計された建物の実況を調査する。
部会構成	主査： 原田和典 <span style="float: right;">部会員：18名</span> 幹事： 秋月有紀、西野智研、湯谷孝夫
研究部会実施回数	8回 (内、公開行事数 0回)
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 部会を開催し、防災計画に資する知見を交換した。 2. 北新地の雑居ビル放火火災、舞洲倉庫火災、堂島雑居ビル放火火災などの事例を収集し、検討した。 3. 防災計画の例題集を検討するためのモデル建物を作成し、ケーススタディに着手した。 4. コロナ禍のため対面での活動を自粛したため、見学会や調査は見送った。
研究部会活動の問題点・課題	コロナ禍のため、他県での活動が制約されるので、どうしても文献調査等が主体となってしまいます。実態調査を含めた検討を進めていきたい。

### 【出版物等】

名 称	印刷部数	備考
		<input type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(0,000円)

### 【部会活動概要】(詳細は各回の部会報告書に記載)

日付	行事形態	参加人数	内容	備 考
5/21	部会	13名	北新地雑居ビル放火火災特別研究委員会の活動を紹介し、多層ゾーン煙流動モデルによる検討結果を照会した。また、体育館の性能的火災安全設計のケーススタディ進捗状況を報告した。	オンライン開催
6/20	作業部会	6名	体育館の性能的火災安全設計のケーススタディ作業を行った。	対面開催
8/3	部会	11名	福岡市整形外科医院火災の裁判例、大邱弁護士事務所ビル放火火災等の事例を検討し、北新地雑居ビル放火火災の検討の参考とした。また、体育館の性能的火災安全設計では、座席列の火災性状を検討した。	オンライン開催
10/11	部会	11名	北新地雑居ビル放火火災の検討を引き続き行った。また、体育館の性能的火災安全設計では、天井高さが一定でない空間の蓄煙時間を求める式を検討した。	オンライン開催

12/16	部会	12名	北新地雑居ビル放火火災に関して、国土交通省および総務省消防庁が発出したガイドラインの検討を行った。また、過去の特異火災事例を分析し、一方向にしか避難できない建物の火災事例を集約した。	対面開催
1/12	作業部会	6名	体育館の性能的火災安全設計のケーススタディ作業を行った。	対面開催
3/10	部会	13名	北新地雑居ビル放火火災に関して、本部の特別研究委員会が作成した報告書の内容を検討した。	対面開催
3/27	作業部会	5名	体育館の性能的火災安全設計のケーススタディ作業を行なった。	対面開催

【部会名簿】2023 年度版

	会員番号	氏名	所属
主査	8413231	原田 和典	京都大学
幹事	9631963	秋月 有紀	富山大学
〃	0813136	西野 智研	京都大学
〃	8807731	湯谷 孝夫	(株)関西建築防災研究所
部会員	8913875	角谷 三夫	(株)関西建築防災研究所
〃	8610736	久次米 真美子	(株)日建設計
〃	8310532	小林 陽一	(株)安井建築設計事務所
〃	7218412	田中 哮義	京都大学名誉教授
〃	9915286	土橋 常登	(一財)日本建築総合試験所
〃	会員外	中屋 成人	(株)関西建築防災研究所
〃	1427857	長野 誠	(一財)日本建築総合試験所
〃	0020741	仁井 大策	京都大学
〃	0407464	春畑 仁一	(一財)日本建築総合試験所
〃	7910963	北後 明彦	神戸大学
〃	1040493	増渕 昌利	増渕昌利建築安全研究所
〃	1107279	森山 博	(株)関西建築防災研究所
〃	9720013	吉田 俊之	(株)明野設備研究所
〃	7205059	吉田 正友	大阪工業大学
			以上 18 名

\*表が足りない場合は行を追加して記載してください